## 成績概要書(2005年1月作成)

.....

課題分類:

研究課題:平成16年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫(植物防疫事業)

担当部署:北海道病害虫防除所、中央農試クリーン農業部予察科・病虫科・総合防除科

上川農試研究部病虫科、道南農試研究部病虫科、十勝農試生産研究部病虫科

北見農試生産研究部病虫科、花・野菜技術センター研究部病虫科、農業改良課

担当者氏名:

協力分担:全道 55 地区農業改良普及センター

予算区分:補助(農林水産省),道費研究期間:2004年度(平成16年度)

.....

1 . 目的

本年実施した調査および試験研究結果から、特に留意を要する病害虫について注意を喚起する。

2. 方法

1)農作物有害動植物発生予察事業

- 2) 突発および新発生病害虫診断試験および調査
- 3) 各種の試験および調査
- 3.成果の概要
  - 1) 平成 16 年にやや多~多発した病害虫
    - (1)水 稲:アカヒゲホソミドリカスミカメ
    - (2)春まき小麦:赤かび病(初冬まき栽培)
    - (3)菜 豆:タネバエ
    - (4)たまねぎ:乾腐病、タマネギバエ、ネギアザミウマ
    - (5)ね ぎ:ネギアザミウマ
    - (6) キャベツ: コナガ
    - (7)り ん ご:キンモンホソガ
  - 2) 平成 17 年度に特に注意を要する病害虫
    - (1)秋まき小麦の土壌病害
    - (2)たまねぎのべと病
    - (3)野菜・花きのアシグロハモグリバエ
    - (4) りんごの腐らん病

- 3)新たに発生を認めた病害虫
  - (1)大豆の紫斑病(耐性菌の出現) Cercospora kikuchii (Matsumoto & Tomoyasu)
  - (2) てんさい・レタスのアシグロハモグリバエ(新寄主) *Liriomyza huidobrensis* (Blanchard)
  - (3)とうもろこしの紋枯病 (新発生) Rhizoctonia solani Kühn AG1-I A
  - (4)ソラマメウイルトウイルス (BBWV) によるかぶのウイルス病(新発生) Broad bean wilt virus
  - (5)アスパラガスのカンザワハダニ(新寄主) Tetranychus kanzawai Kishida
  - (6)オクラの半身萎凋病 (新発生) Verticillium dahliae Klebahn
  - (7)ヤーコンのエゾギクトリバ (新寄主) *Platyptilia farfarella* (Zeller) クロモンキノメイガ (新発生) *Udea testacea* (Butler)
  - (8)トルコギキョウのえそ斑紋病 (新発生) Impatiens necrotic spot virus
  - (9) プルーンの炭疽病 (新発生) Colletotrichum acutatum Simmonds ex Simmonds
  - (10)トウキのコウノフタオアブラムシ (新寄主) Cavariella konoi Takahashi
  - (11)うどのヒメシロコブゾウムシ (新発生) Dermatoxenus caesicollis (Gyllenhal)
  - (12)こごみのクロアシコメツキモドキ (新寄主) Lauguriomorpha nigritarsis Waterhouse
- 4.成果の活用面と留意点 ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。
- 5.残された問題とその対応
  - 1)各種病害虫の要防除水準の設定
  - 2)簡易な調査方法とモニタリング手法の改善
  - 3)発生変動要因の解明と発生予察法の改善
  - 4)病害虫発生情報の収集および伝達の迅速化